

第4部 資料編

関連資料

1

計画策定の
経緯

第6次境町総合計画の策定にあたっては、2018年3月から2019年3月にかけて、町民討議会や審議会等を開催し、町民の意見を聴きながら、議論を重ねてきました。

日時	会議名称等	内容
2017年10月 ～2018年1月	住民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> 配布数：3,000票 回収数：1,084票 回収率：36.1%
2018年3月22日	平成29年度第1回 総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 委嘱状交付 第5次境町総合計画後期基本計画（案）について
2018年6月14日	平成30年度第1回 総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 境町総合計画に係る基本構想の見直しについて
2018年7月23日	平成30年度第2回 総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 住民意識調査から見える境町の現状と今後の方向性について 第6次境町総合計画策定に向けた町民参加の手法について
2018年11月25日	町民討議会「境町魅力 発見ワークショップ」	<ul style="list-style-type: none"> 討議テーマ：「境町魅力発見ワークショップ～わたしたちが町に住み続けたい理由～」 参加者：19名
2019年2月8日	平成30年度第3回 総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 町民討議会について 第6次境町総合計画（案）について 第6次境町総合計画策定のスケジュールについて
2019年3月4日	平成30年度第4回 総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> 第6次境町総合計画基本構想（案）について 第6次境町総合計画基本計画（案）について
2019年3月4日	町議会	<ul style="list-style-type: none"> 第6次境町総合計画（案）を報告
2019年3月中旬	パブリックコメント	
2018年3月下旬	答申書手交式	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画審議会より町長へ答申

2

諮問書・答申書

諮 問 書

平成 30 年 3 月 22 日

境町総合計画審議会
会長 牛山 久仁彦 様

境町長 橋本 正裕

第 5 次境町総合計画について、境町総合計画審議会条例第 2 条の規定により、貴審議会に意見を求めます。

答 申 書

平成 31 年 3 月●日

境町長 橋本 正裕 様

境町総合計画審議会
会長 牛山 久仁彦

「第 6 次境町総合計画」について（答申）

平成 30 年 3 月 22 日付で諮問のあった「第 5 次境町総合計画」について、本審議会において慎重に審議をした結果、別途のとおり答申いたします。

なお、本計画の推進にあたっては、審議過程での意見等を十分に尊重するとともに、下記の事項に留意されることを希望いたします。

記

1. 少子高齢化と人口減少の進行，圏央道境古河 IC の全線開通，「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」の経験といった環境の変化を踏まえ，新たな基本構想（第 6 次境町総合計画）を策定し，まちづくりを進めるよう努められたい。
2. 本計画の趣旨及び内容を広く町民に周知し，理解と協力を得ながら，「河岸の歴史と自然の恵みあふれる，次世代を育む安らぎとイノベーションのまち 境」の実現に向けた取り組みに努められたい。
3. 少子高齢化と人口減少社会の中で，今後も持続可能な境町の発展に向けた新しい基盤を整え，次の世代を担う人口の維持と定着を図られたい。

以上

3

境町総合計画
審議会条例

境町総合計画審議会条例

昭和 44 年 10 月 13 日条例第 23 号

(設置)

第 1 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、境町総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、町長の諮問に応じ、境町総合計画の策定その他その実施に関し、必要な調査及び審議をする。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 16 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 町議会の議員
- (2) 学識経験を有す者
- (3) 町の住民

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、委員の欠けた場合における補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

2 委員は再任されることができる。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の定数の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(専門委員)

第 6 条の 2 審議会に専門委員若干名をおくことができる。

2 専門委員は、会長の命を受けて専門の事項を調査審議する。

(委任)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、町長が定める。

付 則

この条例は、昭和 44 年 10 月 1 日から施行する。

付 則（昭和 47 年条例第 13 号）

（施行期日）

1 この条例は、昭和 47 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 3 年条例第 25 号）

この条例は、平成 3 年 10 月 1 日から施行する。

付 則（平成 13 年条例第 24 号）

この条例は、公布の日から施行する。

付 則（平成 19 年条例第 2 号抄）

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 29 年 9 月 26 日条例第 7 号）

この条例は、公布の日から施行する。

4 境町総合計画
審議会委員名簿

区分	氏名	所属	備考
町議会の議員 (6名)	倉持 功	境町議会議長	副会長
	飯田 進	境町議会副議長	
	須藤 信吉	境町議会議員	
	青木 輝明	境町議会議員	
	渡邊 昇	境町議会議員	
	岩崎 博	境町議会議員	
関係機関及び 団体の役職員 (11名)	仲村 敏明	境町社会福祉協議会会長	
	池上 仁	境町商工会会長	
	加藤 正則	境町消防団団長	
	宇都木 とし子	境町男女共同参画推進委員長	2018年3月22日～ 2018年3月31日
	木場 亮	境町男女共同参画推進委員長	2019年2月8日～
	遠藤 光一	境町区長会会長	2018年3月22日～ 2018年3月31日
	新井 孝	境町区長会会長	2018年6月14日～
	川上 淳	一般社団法人境青年会議所理事長	2018年3月22日～ 2018年12月31日
	島田 礼司	一般社団法人境青年会議所理事長	2019年2月8日～
	五島 朝子	境町交通安全母の会会長	
	宮田 武	境町認定農業者連絡協議会会長	
学識経験を有する者	牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部教授	会長
	内尾 太一	麗澤大学外国語学部助教	

5

町民討議会の
実施概要

「第6次境町総合計画」の策定を視野に、今後のまちづくりの展望を示す基本構想の策定にあたって、広く町民から町や地域の現状、将来のまちづくりの方向性についてご意見を伺うため、町民による討議会を開催しました。

会の名称・テーマ	「境町魅力発見ワークショップ」 ～わたしたちが町に住み続けたい理由～
開催日時	2018年11月25日（日）10時～16時30分
出席者	町民，研修職員など計19名
スケジュール	<p>09：30～ 受付</p> <p>※参加者は4つのグループ（A～D）ごとに着席</p> <p>10：00 開会・導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局あいさつ ・総合計画審議会・牛山会長あいさつ ・ファシリテーター紹介 ・アイスブレイク、グループ内自己紹介 <p>10：55～ 第1部 課題の共有と「わたしたちの知っている境町」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より会の趣旨や総合計画についての説明 ・グループワーク「まちについて知っていたこと」 ・グループワーク「まちについて知らなかったこと」「知りたいこと」 <p><お昼休憩></p> <p>13：25～ 第2部 「わたしたちが感じる町のいいところ、気になるところ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町への質問タイム ・グループワーク「まちのいいところ」「まちの可能性」 ・グループワーク「まちの気になること」 <p><休憩></p> <p>15：30～：第3部 「わたしたちがこの町に住み続けたい理由」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワーク「このまちに住み続けたい理由」「さらに住み続けたいようになるために」 ・全体共有 <p>16：30 ：閉会</p>

6

町民討議会からの意見・提案

町民討議会では、境町のいいところや可能性を踏まえ、自分自身が境町に住みたい理由と、今後も住みたいようになるために、具体的な要望や行動を「誰が」「何をする」という視点で、それぞれの出席者が提案を行いました。

A グループ：メンバーの意見

住みたい理由

私は生まれてから 62 年間境町にずっと住んでいます。これからもずっとこの町にいます。理由は…

- ①昼と夜がはっきりしているからです。昼は活動して、夜は暗くなるので静かに落ち着いた時を過ごす事ができるからです。
- ②子どもを育ててきて、思った事は、安心で安全だと思ったからです。災害も少なく(今までは)事故なども少なかったように思っています。

さらに住みたいようになるには・・・

私が大好きなこの境町に、自分の子どもや孫が住んでくれるかなあと考えたとき、改善してほしいところは…

- ①住宅がとても高いので、とてもアパートなど借りて住むなどできるのかと感ずるので、もう少し安くしてほしいと思います。
- ②仕事を続けながら子育てができるように、職場を通勤できる所に確保してほしいと思います。

住みたい理由

境町は「歴史が無いように見えるが、実は深い歴史がある町」だから。

現在、町民の中で町の歴史(町史)に関心のある人が少なく、地域の歴史や伝承が消えつつある。その歴史を少しでも多くの町内外の人々に伝えられるよう自分の故郷でもある境町の歴史を発信していきたい。

さらに住みたいようになるには・・・

各地域(行政区)の人々に、自分の地域の歴史についてもっと学んで、知ってもらいたい。

自分の先祖・昔の人が境町でどんな風に生活していたのか知る。

→町から各地域の歴史を分りやすく誰もが触れられるような敷居の低いものとして発信する。

郷土史=難しいというイメージを取り除く。

住み続けたい理由

自然（川岸・田園風景）があり、心安らぐから

さらに住み続けたくなるには・・・

地域住民と行政が一体となって、今後も残していきたい景色の保全を考えていく

住み続けたい理由

住民の人が町を愛しているから

さらに住み続けたくなるには・・・

- ・町に仕事を作る
- ・町民一人一人が「自分たちでまちを作る」という意識を持つ

住み続けたい理由

- ・子供から高齢者まで支援をしっかりとしている
- ・自然・環境が良く、のびのびと暮らせる
- ・人や地域を越えた取り組みを行っている
- ・地元のことを大切にしている

さらに住み続けたくなるには・・・

- ・今後の人口構成を見据えた取り組み
- ・住民のニーズに合ったまちづくり（商店・インフラ・教育・福祉等）
- ・新しいことに挑戦することの大切さ
- ・住民が行政に、より積極的になる

Bグループ：メンバーの意見

住み続けたい理由

人々の結び付きが強い！ 顔を合わせる場がある！

→町民運動会など

結び付きは政策が変わっても変わらず維持できるもの。

今日境町の人とお話をして、様々な人と交流が出来、また多方面の政策をやっている境町で住み続けることはとても良いことだと思いました。

愛着を持てる町。

さらに住み続けたくするには・・・

移住者への理解を深める場を、行政の方々、町内会の方などが提供することが重要なのではないかと考えました。

→交流イベントなど移住者が来た後に交流できるイベントを行うなど

↓

常に発展していくことが境町のすごさ

住み続けたい理由

・境町の行政を始め発展していくと思う。

・子どもたちが年と共に年齢を重ねていくにつれ良い町づくりを考えている。

・都市も近くで車にて外出でき、圏央道もでき、時間も短く目的地に着く。

・防災を始め、ネット見ると(利根川)決壊する。境町模型(水害)にてそのようにならない。

さらに住み続けたくするには・・・

・子どもたちが住みよい環境に向けて行政にお願いしたい。

・福祉・病院などにも力を入れて皆さんが笑えるような生活に。

・金銭面、最低でも生活して行けるように心くばりをお願いします。

・お互いに声をかけて、困っている人に手をさしのべる人達が多いように思う。

住み続けたい理由

さらに住み続けたくするには・・・

境町の住環境は、決して良いとは言えないと思います。ですが私にとっては住みなれた場所ですし、勤務先もありますので、多分ずっと境町に住むと思います。

両親・祖父母を見て、自分が今後も境町で生活している場合の予想ができるという安心感もあります。

住み続けたい理由

古きを残しながら新しき発展をして行くこと。

さらに住み続けたくするには・・・

英語教育を活かしたグローバル企業の誘致を行い地元民主体の世界規模企業を定着させる(今の子供達を流出させない)

Cグループ：メンバーの意見

住み続けたい理由

- ①生まれながらに、78年境町に根づき仲間も身内もいるので。
- ②人情味の人柄で生活しやすい所。
- ③今は境町の行政政策に非常に関心を持っているので楽しい。
- ④若い人達もとても元気で町長について行う所が素晴らしい。

さらに住み続けたい理由には・・・

現在区長という大役を任命され行政区のためにいい汗をかいている。行政区の人も今では私の方を向いてくれている。残る任期を町長と共に、境町発展の為に尽くしたい。

住み続けたい理由

- ・新しい事に取り組む姿勢に誇りが持てる
- ・子供を育てる環境として将来性を感じる
- ・良い意味で町の規模が小さく人の温かさを感じる

さらに住み続けたい理由には・・・

- ・地域が地域で集まれる場を作る(コミュニティ形成)
- ・商業施設の充実
- ・明大生のような意識の高い若手人材を役場職員に迎え入れ、行政サービスの向上を図る。

住み続けたい理由

教育、福祉、地域主催イベントなど、多方面で行政サービスが充実しているから。

さらに住み続けたい理由には・・・

- ・町が、暮らしに必要な施設や政策に合った公共施設を整える。
- ・私が、自分の住む地域がより良くなるためにどうすべきかを考える。

住み続けたい理由

子育てをしたくなるような政策が充実している。

さらに住み続けたい理由には・・・

私が地域のこれからについて考える、自分の住む町に感心をもつ。交通利便性が向上する。

住み続けたい理由

- ・子供の教育(特に英語)が充実しているから。
- ・防災面に積極的に取り組んでいるから。

さらに住み続けたい理由には・・・

- ・大型の商業施設(特に子育て家族の衣料品)をつくる。
- ・通学路を整備する。

D グループ：メンバーの意見

住み続けたい理由

1. 災害に強い町づくりをする
利根川のはんらん時に長井沼を遊水池の役目をする場所に作り替える。
東京・埼玉・千葉の都県よりの補助を引き出しての事業にすれば可能性が広がると思われる
2. 東京圏 50km 以内の立地条件を生かした町づくりをする
特化した作物（トマト等，葉物野菜の施設栽培）
3. 輸出を前提とした作物作り（上記トマトや葉物野菜を含む）

さらに住み続けたくするには・・・

1. 高齢者の買い物難民の対策（ネットワークの確立が必要になる）
2. 若い人達が家族で1日過ごせる場所の設定（自然を生かした部分と施設を両立させた場所）
3. 安心安全な町づくりと地域のコミュニケーションの確立を目指す（各班の連絡網の拡充が必要になる）

住み続けたい理由

- ・平和，のどかな環境と，友達・仲間・親・子が近くにいる安心感，慣れ親しんだ地元が好きだから（防災対策，子孫守る）
- ・地元へ貢献したい
- ・子育て支援をしていただいたり，町にお世話になった分，町を盛り上げて未来に進んでいきたいと思っています

さらに住み続けたくするには・・・

- ・今回の様な世代を越えた意見交換は大切だと思いました。地区は違って，その心は地元愛にあふれていると再確認できました。
- ・シニア世代の Net 難民対策→元気なシニアのコミュニティ（サロン等）
- ・水害，防災対策→スーパー堤防，貯水池
- ・SNSの一本化。情報の提示。ポイント制とか，広告宣伝，防災アプリ
- ・英語教育→小・中・高・大→地元への就職につながる

住み続けたい理由

利根川を始めとした自然や住みやすい環境が整っている上に、町外に誇れる地域のイベントも多く行われている所に魅力を感じています。

こうしたイベントが町の内外に広く発信されることで、観光客を呼びこみ町の魅力が広く知れ渡ることが期待できると思います。

水害を経験した境町は防災に関する住民の関心が非常に高いと感じたし、本当に安心・安全な町をつくるにはどうすればいいかを熱心に考えている人が多いのだろうと思います。

さらに住み続けたくするには・・・

観光面では、1つのイベントを発信する際に、他のイベントも一緒に広報できれば、より町の魅力を知ってもらえると思います。

防災面では、まちが地域住民の現状(足の不自由等)に即したハザードマップを作成するなど、水害の教訓を生かした防災が必要だと思います。

住み続けたい理由

観光面では、1つのイベントを発信する際に、他のイベントも一緒に広報できれば、より町の魅力を知ってもらえると思います。

防災面では、まちが地域住民の現状(足の不自由等)に即したハザードマップを作成するなど、水害の教訓を生かした防災が必要だと思います。

さらに住み続けたくするには・・・

町や法人が、シニア世代や障がい者の活動や雇用の場として高齢者の買い物難民に対して配送サービスを行う事業を実施する。

駅までのバスの本数を増やす、バス停を増やし、バスの運行ルートを広げる。

町が企業を誘致し、農業を広げ、子ども達が大人になっても境町に住み続けられるよう雇用の場を創出する。

住み続けたい理由

境町在住 45 年以上, どっぷり浸って何不満も持ち合わせずここまで生きてきている。私にとっての第 2 の故郷, 子供にとって境町は帰るところのある故郷です。

境町のあり様を見ると, 社会の変化に追いついていくのが大変で, 苦労続きだった様に感じる。

ただ, 最近の動きを見ると, 役場の役割が大きくなるにつれて, 住民の意識も良き方向に行っているように思える。

新たな方策が功を奏するかは住民の意識が一つになるかに掛かっているかも知れない。私はここに住み続ける。近隣住民とともに手を携えていく。

さらに住み続けたくするには・・・

私はこれからもここに住み続けたいので, 境町を離れてみたいと考える人の気持ちを推量してみたい。

《してほしいこと》

- ① 交通の便：境～東武動物公園間。
便数増加と, バス運賃の町補助。
“町内の雇用は簡単に増えない”
- ② お年寄りが弱者にならない施策を
ていねいに検討実施する。
- ③ 町外から人を呼び寄せる施策があれば… ex.空家の有効活用
- ④ 生き生きと生きていける空間作り：費用対効果を考えて, など。